



セルクルきほく 第9号

～紀北支援だより～

和歌山県立紀北支援学校
教育支援部 2021.6月

セルクルとは、フランス語で「輪」を意味します。学校や地域がつながること
で、大きな輪となり連携を深めていくことができればと考えています。

情報を発信していきます！

新年度がスタートしました。ようやく子どもも先生も学校生活に慣れてきた頃かと思います。疲れも出てくる頃
ですね。

紀北支援学校は、特別支援教育のセンター的役割として、地域の特別支援教育のサポートをしながら、
子どもたちにとってより良い支援を提供していくことができるように、共に考え、取り組んでいきたいと思っ
ています。そこで、地域の各学校等と情報を共有し、連携をより深め、それぞれの専門性を高められるよう、
『セルクルきほく ～紀北支援だより～第9号』を発行します。各学校での取組のヒントになればと思い、本校の
取組や各学校の情報を発信していきますので、よろしくお願いします。

教材紹介 ～見通しをもつための支援ツール～

紀北支援学校にも多くの1年生が入学してきました。新しい環境の中、見通しがもてず不安な気持ちで
いっぱいだったと思います。言葉の理解が難しかったり、衝動性があり注目するのが難しかったりといった特性
があると尚更です。その上、うまく言葉で表現ができないと、教室を飛び出したり、友達にちょっかいを出したり
という行動に出てしまうかもしれません。困った子どもではなく、“困っている子ども”なのです。

今回は、紀北支援学校で活用されている見通しがもてるための教材(支援ツール)をご紹介します。

朝の準備・服のたたみ方

支援ツールとは

「豊かで自立的な家庭・地域生活を目指して、子どもたちが自主的・自発的
に活動できるように開発された道具や手段。」

(『子ども生き生き支援ツール～きょうまいくよ、移行・連携～』富山大学教育学部附属養護学校著・明治図書より)



活動内容を一目で
確認でき、順番も
示されている。



朝の準備ツール
めくると花丸が出て、
達成感がもてる。



めくると好きなイラストが完成
する。興味を活かして。

魔法の道具ではない

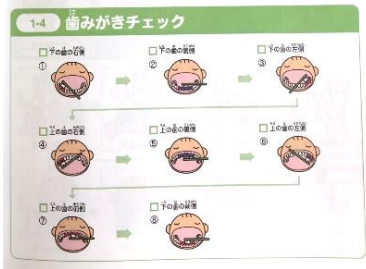
やりたくないことをやらせる道具
ではない

提示されてもできないことや苦手な
ことには取り組みにくいです。
子どもが達成可能な活動を用意
した上で、わかって安心して取り
組むためのツールです。

使うための練習が必要

すぐに使えないこともあります。
イラストや写真と活動をつなげ、
意味づけながら、使う方法を学んで
いけるように伝えていく必要が
あります。

形や方法はいろいろ



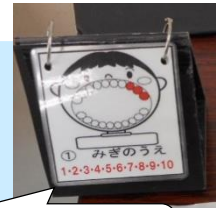
チェックしながら磨ける。
『絵で見てわかる!』視覚支援のカード・教材 100 青木高光・杉浦徹・竹内奏子著 (株) 学研プラス より



カードを一枚ずつ取る。
操作することで、自発的な取組を促す。



本のようにめくる。
カードをなくしにくい。



めくり手順表。
注目しやすい。

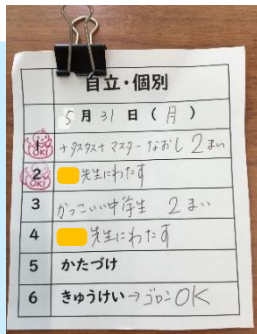


写真で表示。



カードを倒していく。
片手で操作しやすい。

授業でも活用



5月25日 月曜日	
<図説> 今日のスケジュール	
活動内容	〇しで印!
① 点、つなぎ	やってある 見せてからやる
② 漢字 2 個	やってある 見せてからやる
③ 音読「じんぎつね」①～③	やってある 見せてからやる
④ プリント 1 枚	やってある 見せてからやる
⑤ 発表 (答え合わせ)	やってある 見せてからやる
⑥	やってある 見せてからやる

☆ さんへ☆
すると言っている、見学したくなったら、見学は、OKだよ。その時は、先生に教えてね!!
リクエストは、いつでも受け付けます(※0*)

子どもの実態や環境に合わせて理解のしやすさ(文字、絵、写真等)や操作のしやすさ、学校や教室の配置、友達との関係性等、一人一人の実態や環境に合わせて用意することが大切!

授業でも、実態に応じて、活動内容や順番を示すことで、子どもが見通しをもって、自発的に取り組めるように工夫しています。

セルクルきほく学習会を開催します!

令和3年度 セルクルきほく学習会



*特別支援教育に関する研修を通して、紀北支援学校と先生方、また先生方同士がつながるきっかけとして、学習会を開催します。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応で、Zoom によるオンライン学習会を計画しています。

*日時: 8月19日(木) 10:00~12:00

*対象: 紀北支援学校校区内の公立の幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校等の先生方

*内容: ①講演『子どもの困った行動を支援し、学びの多い授業を作る ー明日から実践できる支援方法を学ぶー』

講師: 兵庫教育大学(博士課程) 原康行先生

②実践報告 本校の自立活動の取組を報告

*案内を各学校に送付していますので、確認いただき、申してください。申込締切 7/16(金)



教育相談・研修協力へのご希望があれば、まずはお電話ください。

和歌山県立紀北支援学校 教育支援部

TEL: 073-479-1356

メール: kihoku-shien@wakayama-c.ed.jp

ホームページ: [紀北支援学校](#)で検索